



5 いろいろな運動遊び

～いろいろな遊びの中で十分に体を動かすことができるように～

様々な遊びをすると、結果的に多様な動きを経験することにつながります。
夢中になって遊ぶことによって、体を動かして遊ぶことの心地よさを味わえるようにしましょう。

基本的な動き

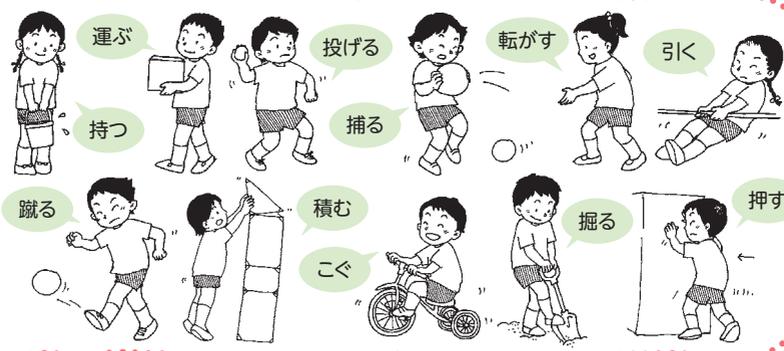
体のバランスをとる動き



体を移動する動き



用具などを操作する動き



家庭でも遊んでみましょう



家庭でもできるボール作り

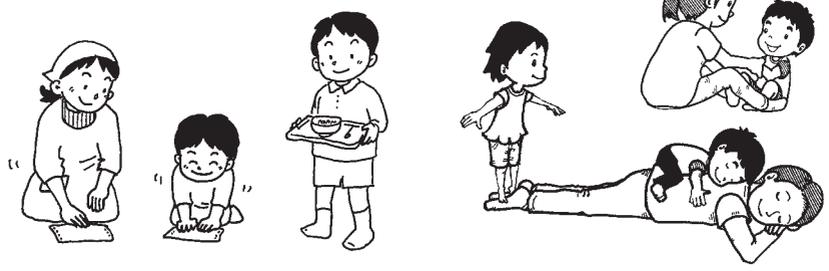
柔軟性やタイミングを合わせることなど、親子のできるふれあい遊びをたくさんしましょう。

家の中や近所の公園で、大きなボールを使って遊ぶことは、いろいろな制約があり難しいかもしれませんが、新聞紙を丸めて、テープで留めると当たっても痛くなく、転がりにくいので、おすすめです。



雑巾掛けや食器運びなどお手伝いの中でも、いろいろな動き方が経験できます。

おしゃべりしながらのストレッチは、親子のスキンシップになります。



○幼児期運動指針ガイドブック 毎日、楽しく体を動かすために(平成25年 文部科学省)より



6 季節の製作を通して、日本の伝統行事に親しみましょう



多くの園では、四季折々の伝統行事を大切にしています。子どもたちが行事に込められた意味や願いを知り、遊びや生活に取り入れ季節を感じる豊かな経験ができるようにしています。

行事ごとの製作遊びも楽しい経験の一つで、各年齢の発達に応じた工夫がなされています。各園によって様々な取組がされていますが、年齢ごとに発達が分かりやすい素材や技法の一例をご紹介します。

家庭でも、園から持ち帰った物を飾ったり、作った物を使って遊んだりして、伝統行事に親しみ季節感を味わえるようにしましょう。



5月 端午の節句

3歳児



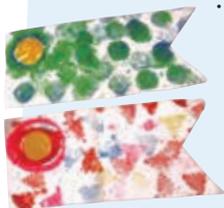
- ・簡単にすぐできて繰り返しやってみたいと思うような、技法や素材を取り入れています。
- ・3歳児の手に合うサイズで作り、できあがったら広告紙を丸めた棒に鯉のぼりと吹き流しを付けて、幼児が手に持って遊ぶことができるようにしています。

4歳児



- ・鯉のぼりの台紙の色、うるこの色や形を自分で選び、作る楽しさや、自分だけの鯉のぼりができるうれしさを味わえるようにしています。
- ・鯉のぼり製作をとおして、ハサミや糊を使う経験ができるようにしています。

5歳児



- ・共同製作として、友達と一緒に相談して決めたり、協力しながら作ったりするかわりを大切にしています。2~3人で一つの意見に決める過程で、友達の言葉を聞き、自分の気持ちとは異なる思いに気付き、受け止める経験が、できるようにしています。
- ・友達と一緒に一つの鯉のぼりを作りあげる喜びを味わえるようにしています。



鯉のぼりになって遊んでいます。

●端午の節句の豆知識

昔から、子どもたちの健やかな成長を願い、鯉のぼりを揚げたり、兜や鎧を飾ったりしてきました。お風呂の湯船に菖蒲の葉を入れたり、ちまきや柏餅を食べたりする風習もあります。
*諸説あります。

7月 七夕

3歳児

- ・3歳児では、好きな色を選んで作ることができるように、材料を多めに用意しておき、楽しいから繰り返し作りたいという気持ちを大切にしています。
- ・丸折り紙をつなげた飾りや、折ってスイカに見立てた飾りなど、糊を使い簡単に作ることができるようにしています。



4歳児

- ・三角や四角の、折り紙をつなげた飾りや輪つなぎを作り、長さのある飾りを作ることを楽しめるようにしています。
- ・織姫や彦星など、七夕の由来に親しみもてるような製作にも取り組みます。折ったり貼ったりして、少し手を加えればできあがるような教材を選んでいきます。



5歳児

- ・ハサミで切込みを入れて、貝殻つなぎやダイヤつなぎ、天の川を作るなど、難しい技法に挑戦する中で、根気強く取り組むことができるようになります。
- ・様々な種類の飾りがあるので、あらかじめ自分たちが作る飾りを知らせておき、子どもが見通しをもって取り組めるようにしています。



●七夕の豆知識

七夕の日に里芋の葉にたまった露で墨をすと字が上手になるということから、短冊に願いを書くという風習などが行われるようになったとされています。
*諸説あります。



短冊の五色は、赤、青(緑)、黄、白、黒(紫)です。織姫の織り糸にちなみ、吹き流しや糸を飾ることもあります。



2月 節分

3歳児

- ・力を入れてクレヨンでしっかりと塗ることができるようにしています。
- ・簡単にできて、すぐに身に付けて遊ぶことができる物を選ぶことで、自分で作った喜びを味わえるようにしています。



節分の豆入れ箱(三方)を自分で作ることができるようになります。ぜひご家庭でも作ってみましょう。

節分の豆入れ(三方)



4歳児

- ・顔の表情を考えて、描いたり貼ったりできるようにします。
- ・円や直線など描いてある線のとおり、ハサミで切ることができるようにしています。
- ・糊は適量を取り、はがれないように、必要な部分の隅まで塗る経験ができるようにしています。
- ・紙以外の素材も使うようにしています。



5歳児

- ・絵の具や毛糸、厚紙などを使い、本物らしく作るができるようにしています。
- ・紙袋や張り子のお面など、一つのことじゅくりと取り組むことを大切にしています。
- ・数人の友達と考えを出し合いながら、一つの鬼を作ることもあります。



●節分の豆知識

節分とは、季節の変わり目を意味します。昔は四季の始まりの日の前日を節分と言いましたが、現在は立春の前日だけが節分として残りました。季節の変わり目には鬼が出るといわれ、悪い鬼を追い払い素晴らしい春を迎えるために、春の節分が残ったと言われています。

* 諸説あります。



3月 桃の節句

3歳児

- ・先生に教えてもらいながら自分で取り組めるように、簡単な折り方の見本を用意し、自分で折ってみようという気持ちを大切にしています。
- ・紙の端と端を合わせて折ることを知らせています。
- ・ハサミで切りやすいように細長い紙を用意し、自分で切った物や折った物を糊で貼ることで、製作の楽しさや自分でできた喜びが感じられるようにしています。



4歳児

- ・身近な素材を使って作ることができることを知り、組み合わせを工夫しながら作る楽しさを感じられるようにしています。
- ・紙コップなどの立体的な物を切るなど、少し難しいことにも挑戦し製作への意欲がもてるようにしています。



5歳児

- ・今までに経験した技法で、いろいろな素材を使い自分なりに考えて工夫して作る姿を大切にしています。
- ・自分のイメージしたとおりに作っていく楽しさを感じ、最後まで作り上げることによって満足感や達成感を味わえるようにしています。
- ・できあがった作品をみんなで見合い、工夫したところや頑張ったところなどを互いに認め合う経験ができるようにしています。



●桃の節句の豆知識

桃の節句は、女の子の健やかな成長や幸せを願う日とされています。雛人形を飾るのは、お雛さまに厄災を身代わりに引き受けてもらうためです。

また、桃の花には「魔除け」や「長寿」のパワーがあるとされ、桃の花が飾られるようになったそうです。

* 諸説あります。





7 絵本の選び方～本は心の栄養～



大人が「絵本を読んであげよう」と思っても、子どものペースで絵本をめくってしまう、最後まで見ない、いつも同じような絵本ばかり手にとるなど、「どうして？」と思うこともあるでしょう。

「本を読むことは、子どもの成長に大切なこと…と分かっているけれど、どんな本を選べばいいのかわからない…」という方もいるのではないのでしょうか。

ここでは、年齢に応じた本の選び方を紹介します。

なぜ絵本を最後まで見ないのかな。いつも同じ絵本ばかり見ていていいのかな。



3歳児

絵や色のはっきりした本や、リズムカルに繰り返しの言葉が出てくる本を好みます。気に入った本が見付かると、何度も「読んで。」と繰り返すでしょう。

大好きになった本は、「またこの本？」と思わずに、何度でも読んであげましょう。

4歳児

友達と遊ぶ楽しさを知り、けんかをおして心の葛藤も経験し、様々なことへの好奇心が高まります。洗濯やお風呂など身近にある物が出てくるお話を喜びましょう。誕生日や運動会など園で経験したことを身近に感じられるお話を選んでみるのもいいですね。

5歳児

思いやりの気持ちや、困ったことを解決しようとする意欲が芽生えてくる時期です。登場人物の気持ちを想像し、「この後、どうなるのだろう」と、主人公になりきって、わくわくしながらお話の世界に入ることでしょう。

【港区内の図書館をぜひご利用ください】

図書館の絵本・児童書コーナーでは、季節の本やおすすめの本を紹介しています。また、図書館のスタッフが、本の選び方、読み方など相談ののってくれます。園の貸し出しや図書館、本屋さんなどで、題名や絵がおもしろそうだった本から始めるとよいでしょう。



図書館名	電話番号	図書館名	電話番号
みなと図書館	3437-6621	港南図書館	3458-1085
三田図書館	3452-4951	台場区民センター図書室	5500-2356
麻布図書館	3585-9225	青山生涯学習館図書室	3470-4584
赤坂図書館	3408-5090	郷土歴史館図書室	6450-2107
高輪図書館	5421-7617	男女平等参画センター(リーブラ)	3456-4149
高輪図書館分室	3443-1666	図書資料室	

※詳しくは港区立図書館ホームページをご覧ください。

3歳児

「おおきなかぶ」
(作:A・トルストイ/
絵:佐藤忠良/
訳:内田莉紗子/
福音館書店)

「てぶくろ」
(絵:エウゲーニー・モラフォ/
訳:内田莉紗子/
福音館書店)

「ねずみくんのチョコキ」
(作:なかえよしを/
絵:上野紀子/
ポプラ社)

4歳児

「おふるだいすき」
(作:松岡享子/
絵:林明子/
福音館書店)

「ぐりとぐら」
(作:中川李枝子/
絵:大村百合子/
福音館書店)

「おへそのあな」
(作:長谷川義史/
BL出版)

5歳児

「おおきくなるっていうことは」
(作:中川ひろたか/
絵:村上康成/
童心社)

「おしゃべりなたまごやき」
(作:寺村輝夫/
絵:長新太/
福音館書店)

「おしいれのぼうけん」
(作:寺村輝夫/
絵:長新太/
福音館書店)

「ともだちや」
(作:内田麟太郎/
絵:降矢なな/
偕成社)

※対象年齢は参考のためのものです。



虫の飼い方～カタツムリを飼ってみよう～



通園の道すがら、子どもと一緒にアリやダンゴムシ、セミの抜け殻やチョウの幼虫、オタマジャクシを探すなど、四季折々の自然に関わる機会も多いのではないのでしょうか。見つけたカタツムリをご家庭でも飼育してみましょ

準備するもの

- ・飼育容器…飼育ケースや透明の容器
- ・小枝や落ち葉、石など

えさ

- ・キャベツやニンジンなどの野菜を与えましょう。
- ・他にも何をよく食べるか観察してみましょう。
- ・卵の殻の成分はカタツムリの殻の栄養になります。
*赤ちゃんカタツムリには、柔らかい葉の野菜を与えましょう。

飼い方

- ・風がよく通る日陰に飼育ケースを置きます。
- ・湿り気を保つようにしましょう。
(こまめに霧吹きで水をかけましょう)
- ・飼育ケースの中の餌の食べ残しやフンは取り除き、いつもきれいにしておきましょう。
- ・カタツムリをさわった後は必ず、手を洗いましょう。



カタツムリ豆知識

カタツムリはいろいろな色のフンをします。それは餌と関係があるようです。一緒に観察したり、図鑑などで調べたりしてみましょう。

身近な生き物を家庭で飼育することは、生き物への興味や関心をもつことにつながります。生き物の世話は、命の大切さを学ぶ機会にもなります。そして様々な変化に気づき、親子で関心を寄せることで、会話も膨らむでしょう。

他に家庭で飼育できそうなもの

カブトムシ



幼虫から飼育するときは、どのように飼育するのか、調べてみるとよいでしょう。

ダンゴムシ



ダンゴムシは雑食なので、なんでも食べます。ダンゴムシの好みを観察してみるのもおもしろいですね。

港区立みなと科学館



みなと科学館は令和2年6月にオープンしたばかりの新しい科学館です。都市機能が集積する港区ならではの特性を活かし「まちに息づく科学」の発見と探究をキーワードに、子どもから大人まで楽しみながら科学を学ぶことができる場を提供します。

1階の常設展示コーナーでは、みなと・クエストMapで港区に関する様々な情報をご覧いただけるほか、「まち・うみ・しぜん・わたし」をテーマにした体験型の展示をお楽しみいただけます。

2階には800万個の星を映し出す最新式の光学式投影機と4K全天周映像システムを備えたプラネタリウムホールがあり、オリジナルの映像コンテンツの投影や、星空生解説を行っています。

季節の企画展やワークショップ等のイベントも随時開催。詳しくは港区立みなと科学館の公式ホームページ (<https://minato-kagaku.tokyo>) をご覧ください。

【所在地】東京都港区虎ノ門3-6-9 ※みなと科学館は地上1・2階に設置

【アクセス】日比谷線虎ノ門ヒルズ駅A1・A2出口 徒歩4分
神谷町駅4b出口 徒歩5分
銀座線虎ノ門駅2a出口 徒歩10分
南北線六本木一丁目駅3番出口 徒歩15分



【電話番号】6381-5041

【開館時間】午前9:00～午後8:00 ※最終入館：午後7:30

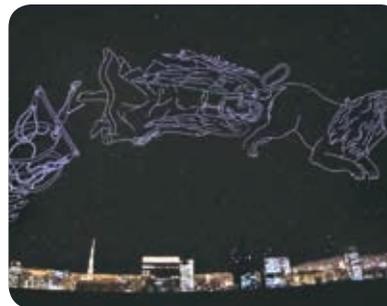
【休館日】毎月第2月曜日、年末年始(12月29日～1月3日)、臨時休館日

【入館料】無料 ※プラネタリウムのみ有料

プラネタリウム観覧料	大人	小・中・高
一般投影1回	600円	100円
年間利用券(メンバーズカード)	2,000円	300円

【公式HP】<https://minato-kagaku.tokyo/>

【公式Twitter】@minato_kagaku



港区の星空のプラネタリウムです



「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」とは？
5歳児3学期1月の姿から

「どうしたら氷ができるかな？」

氷ができる！
ぶ厚いよ！



とても寒い
冬の日の朝

氷を作りたい！
入れ物は
どうしようかな？

氷に
花も入れる？

外の
たらいに
水を入れて
おいたら？



次の日…

花の入った
氷ができた！



ペットボトルの
水は、氷に
なっていない…

なんでだろう？
いろいろ試して、
調べてみよう！



数日間、氷の実験をしてみよう…



フライパンも
使ってみよう？

ニュースの
天気予報で、
「今日は最低
気温が5度」と
言っていたよ。

カレンダーに、
気温と氷が
できた日を
書いておこう

屋上の
気温を
調べて
みたよ



氷はとっても
寒い日に
できるんだね。



見て！
こんなに
大きな氷が
できたよ。



氷ができるのは
6℃より寒い日
なんだって。

幼児期は心と体が大きく成長するときです。まだ幼い子どもたちも、小学校入学前頃になると「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（P8,9参照）」が見られるようになります。これは実際の園生活では、どのような姿なのでしょう？



左記の5歳児の1月の幼児の姿とおして、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を見てみましょう。

左記の中で見られた

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」（P8～9参照）

●社会生活とのかかわり

テレビの天気予報から、気温と氷のでき方との関係に疑問をもった子どもたちは、調べた気温を園でカレンダーに記載し、変化を見たり友達に伝えたりするようになりました。

●思考力の芽生え

氷への興味や関心から、氷作りのために友達と一緒に試したり工夫したりする中で、氷の性質を知り、氷が張りやすい場所や容器、さらに気温等の諸条件にも興味や関心が広がりました。また、友達と考えを伝え合う中で、様々な考えを知り、いろいろな面から考えられるようになりました。

●自然とのかかわり・生命尊重

氷を直接見たり触れたりし、冷たさや不思議さ、おもしろさなどを感じ、氷の性質を知る機会となりました。さらに「氷を作ってみよう」という願いから、気温等の条件にも関心をもつようになるなど、好奇心や探求心を育むことにつながりました。

●言葉による伝え合い

氷に関することが子どもたちの共通の話題となり、疑問に思ったこと、気付いたことや考えたことを子ども同士が言葉で伝え合い、情報を共有し、学級全体の学びとなりました。

このように、遊びや生活の中で、疑問の解決に向けて友達と考えを出し合いながら試したり工夫したりする経験は、探求心を育み、主体的に問題を解決しようとする姿につながります。幼児期の経験は、実感を伴った知識の獲得と理解につながるとともに、小学校以降の生活や学習の基盤となっていきます。